

# 第1回 福岡空港地盤改良工事の修補に関する有識者委員会

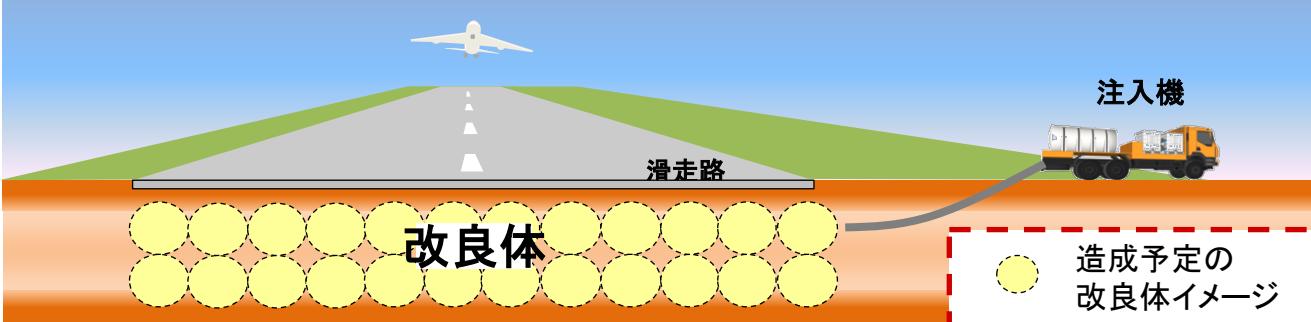
【資料1】

## (1) 福岡空港滑走路地盤改良工事の施工不良について

- 平成26年度、27年度の福岡空港滑走路地盤改良工事において、施工不良及び虚偽報告が発覚
- 当該工事は供用中の空港の滑走路等の直下の液状化対策のためのもので、薬液が必要量注入されない施工不良であり、加えて工事の監督・検査においてデータ改ざん等による虚偽報告を行っていたもの

## 【施工不良等の行われた工事と不正の概要】

工事年度	工法	薬液注入割合	削孔位置精度	虚偽報告	ボーリング供試体差替
平成26年度	曲がり削孔 バルーングラウト	43%	40%	○	○
平成27年度	曲がり削孔 バルーングラウト	38%	55%	○	○



## (2) 修補工法検討の視点について

### ■ 地盤改良工事の施工不良等の問題に関する有識者委員会 中間報告書

#### 工事の修補

#### ◆ 基本方針 適切な施工管理による確実な施設の修補

#### <課題>

- 未経験のばらつきのある地盤
  - ・施工不良による中途半端に改良された地盤
  - ・削孔時の施工不良による残存物
  - 埋設物、滑走路等への影響

#### <工事毎の委員会における検討>

- 施工不良地盤の適切な評価
- 試験施工による品質確保の確実性の検討
- 施工不良時の対応の検討
- 設計仕様の厳格な実施ではなく、有すべき性能の確保を実施

#### 修補工法の選定

- 福岡空港での地盤改良工法の評価については、浸透固化処理工法(曲がり)が優位であるが、液状化対策効果および施工の確実性に十分配慮すべき

#### ○福岡空港での修補にあたり考慮すべき条件を整理

- ・作業時間
- ・航空機の離着陸
- ・ブリスターリング 等

## (3) 現状把握のための現地調査(ボーリング)について

- 施工不良地盤を適切に評価するためには、土質性状を適切に評価する必要があるが、施工に起因する地盤条件のばらつきが大きな課題
- ボーリングの実施においては、滑走路での実施となることから、掘削本数を最小化する必要がある



- 調査地点の選定については、誤差はあるものの薬液の注入実績を手掛かりとして活用し、注入実績や地盤の土層構成を考慮し、客観的に調査データを得られる調査の候補地点を選定する方向で検討



## 【薬液の注入実績】

### [H27工事 下段]

11ブロック		12ブロック		13ブロック		14ブロック		15ブロック		16ブロック		17ブロック	
70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57
30	59	61	76	52	58	60	52	63	59	55	61	59	68
29	63	58	81	54	55	56	61	59	60	64	62	49	68
28	57	55	95	42	71	55	62	63	62	58	56	53	52
27	24	50	98	49	73	51	61	60	63	60	61	57	54
26	89	64	122	76	92	66	70	84	73	89	70	50	110
25	73	42	88	56	79	40	51	59	60	52	53	51	52
24	68	52	82	62	89	37	67	59	60	44	61	51	52
23	83	66	75	64	91	35	65	60	67	60	56	52	56
22	24	63	78	16	103	25	68	66	97	67	100	87	73
21	54	81	57	57	94	39	58	61	63	60	59	58	57
20	54	87	49	53	96	43	53	60	63	60	59	56	57
19	57	89	43	50	96	48	49	62	64	61	52	52	52
18	16	66	13	51	51	47	54	50	60	55	52	52	52
17	64	76	46	49	84	57	51	58	56	57	55	54	56
16	85	71	48	53	80	64	56	63	62	58	52	52	52
15	66	81	50	54	75	54	53	53	53	53	53	53	53
14	67	53	51	53	67	66	53	53	53	53	53	53	53
13	89	47	62	74	62	71	53	50	50	50	50	50	50
12	52	51	61	58	61	66	54	56	56	57	57	57	57
11	61	50	62	61	58	63	54	59	70	55	54	54	54
10	59	49	60	63	52	60	53	60	67	60	56	55	55
9	65	51	50	54	67	62	56	60	67	60	56	55	55
8	62	61	66	60	64	60	53	60	67	60	56	55	55
7	50	53	57	66	65	54	58	60	66	65	64	65	65
6	59	58	62	61	60	55	60	65	67	62	60	58	58
5	58	59	53	69	71	51	57	60	67	63	60	58	58
4	57	60	50	69	70	49	53	59	59	57	54	54	54
3	55	60	50	70	48	53	54	61	60	58	55	55	55
2	53	60	51	69	70	48	53	54	61	60	58	57	57
1	49	54	58	68	73	52	52	60	64	60	58	57	57

※実績注入率: 計画に対する実施注入量の割合[%]

0% 0 1~19% 10 20~39% 30 40~59% 50 60~79% 70 80~99% 90 100% ~105

## (4) 今後のスケジュール

- 次回の委員会でボーリング結果の報告

- ボーリング結果を踏まえ、修補計画を検討